

笑顔のひろば

ひとりりで障害者協働支援ネットワーク

第62号

1面：第11回就労講演会「障害者の“働く”を考える」開催延期案内／第54回定例会報告／第55回定例会のご案内 2面：取手市自立支援協議会参加報告／第3回障害をテーマにした勉強会報告 3面：社協主催「障害者支援ボランティア講座」講師報告／NPO法人活きる「楽ちん介護」報告（後援） 4面：今年度第6回チャレンジの広場報告（後援）／ネットワークからのお祝い／助成金・寄付金報告／発行／連絡先／会員募集／寄付金受け入れ

第11回就労講演会「障害者の“働く”を考える」開催延期

第11回就労講演会「障害者の“働く”を考える」は、開催延期とすることに決定致しました。

この度の新型コロナウイルス流行を考慮し、役員会で検討の上、関係機関に相談の結果、今回の開催は見合わせる事と致しました。後日、日を改めて今回の内容で皆様にご案内申し上げます。

- 日 時：開催日時は、決定次第お知らせします
- 場 所：福祉交流センター 多目的ホール
- 講 師：障害者就労・生活支援センタービッグハート松戸センター長 古川 亮 氏
- テーマ：障害者雇用の現状と地域で支える就労支援体制～東葛地区での取り組み～

第11回 就労講演会
障害者の“働く”を考える
開催延期

演題：障害者雇用の現状と地域で支える就労支援体制
～東葛地区での取り組み～

講師：障害者就業・生活支援センタービッグハート松戸センター長 古川 亮 氏

令和2年3月7日(土)
午後1時30分～3時30分
福祉交流センター
(取手市役所敷地内) 多目的ホール

入場無料
手話通訳あり

主催：とりで障害者協働支援ネットワーク
お問い合わせ TEL. 080-4662-9530
(受付時間 平日 10:00-15:00)

第54回定例会開催報告



1月21日(火)福祉交流センターに於いて第54回定例会を開催しました。定例会は、行政(障害福祉課)からの報告を始めに、前回定例会以降のネットワークの活動報告、次回定例会までの計画・提案について質疑応答を行うという形で進行します。

その後、各団体からのお知らせと意見交換に移り、出席された皆さんは時間の許す限りではありますが、活発な討議と交流が出来たと思います。(出席者：25名)

第55回定例会開催のご案内

ネットワーク会員・市担当部・社会福祉協議会・市議会議員・民生委員・その他関係機関の皆様のご出席をお願いします。会員以外の障害者支援団体・個人の方もお気軽にご参加ください。定例会は年4回(4, 7, 10, 1月)開催しています。

- 日 時 令和2年4月21日(火) 10:00～12:00
- 場 所 取手市福祉交流センター 多目的ホール
- 議 題 行政からの報告／ネットワークからの報告／情報交換 その他

第3回障害をテーマにした勉強会開催報告



ネットワークでは不定期に勉強会を開催しています。

1月28日(火)、包括支援センターの業務について高齢福祉課職員と包括支援センタースタッフに話しをしてもらいました。

高齢になった時にお世話になる事業所ですが障害者とのかかわりを知りたいと考え、講師をお願いしました。

障害関係者はあまり高齢支援について知識がありません。資料に基づいて説明をいただきました。

したが、多岐にわたる業務があり、とても大変だということがわかりました。

相談があった場合、高齢者だけでなく障害者や子供への支援もされています。

もともと、相談の内容によっては分野外もあり、その場合は専門家や法律家と連携することも多いそうです。
(宮脇貞夫 記)

取手市自立支援協議会参加報告

取手市では、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）第89条の3に基づき、取手市における相談支援事業をはじめとする地域における障害者への支援体制の整備について中核的な役割を果たす定期的な協議の場として、自立支援協議会が設置されています。4つの部会がありそれぞれの活動に関係する事業所、団体が参加しています。

ネットワークから代表の染野が児童に関する部会のリーダーとして、幹事の宮脇は地域で生活していくための部会リーダーとして、また協議会の会長職も務めています。

1. 児童に関する部会：染野和成

先日開催された自立支援協議会も、委員としての任期も今回で2年となって最後の会合となりました。

私の所属する児童部会ではこの2年間で6回の見学会を実施、9カ所の児童放課後デイサービス、知的障害者施設を見させていただきました。

また、この2年間当初からの目標であった、市内にある児童放課後デイサービス、各事業所の連絡会を結成する話がようやくまとまり、この1月に最初の会合が行われ、初年度の幹事役、年2回の連絡会開催時期、その他が決められました。

自立支援協議会内の児童部会、次なる目標は児童、支援学級、支援学校からなる共同体を構築することとして確認し、解散しました。

2. 地域で生活していくための部会：宮脇貞夫

障害者が高齢になっても安心して地域で暮らしていく環境作りを目指しています。その手段をいろいろ検討しましたが、まずやらなければいけないことは、障害者が地域で安定した生活を送るための福祉サービスの充実を考えました。そこで 下記項目を目指すことにしました。

- 特別養護老人ホームに障害者のショートステイを受け入れてもらう
- 居宅サービス等の介護保険事業所に障害福祉サービスへ参入してもらうその目標を達成するための手段として
- 両サービスの併設に詳しい識者のシンポジウムを開催する

障害者(児)支援ボランティア講座

社会福祉協議会の主催で毎年開催されているボランティア講座の講師として、ネットワークの役員が協力しています。2月12日(水)の講座では宮脇が肢体不自由者の支援について、19日(水)は武藤が傾聴についてお話ししました。

1. 肢体不自由者(身体障害者)の支援

まず、宮脇がボランティア、障害の世界に入ったきっかけをお話ししました。妻が障害者になったことで、いろんな不便を多くの方の支援で生活が成り立ったことへの恩返しのためでした。まず、ボランティアとしての基本的な心構えを伝えました。

その後、代表の染野とNPO法人を設立し、本格的な支援ボランティア活動を始めた経緯をお話ししました。障害者支援の大事なところは、必ず当事者の状況に応じた自立を考えた支援をすることです。

できることは自分でやってもらい、残存能力を伸ばして出来ることを増やすお手伝いも大事なことです。そして、過度の優しさやおしつけの介助は、差別につながることもわかってもらいました。

とにかく、当事者と話し合っ、能動的な人生を送ってもらうお手伝いすることがもっとも重要なことです。(宮脇貞夫 記)



2. 傾聴ボランティアについて

入門講座の「傾聴について」を担当して10数年経ちます。

私たちは何気なく話をしていますが、時として相手を傷つけてしまうことも生じてしまいます。話の聞き方、ことばかけを少し学んでおくと心地よいコミュニケーションができるようになります。

『障がいのある人への心配り』

- ・人間一人ひとり皆違うように、障がいのある人も一人ひとり別々の人格であることを認識する。これが障がいのある人に対するエチケットです。
- ・障がいのある人のお手伝いをするときは、声をかけることが大切です。黙っていきなり体に触れたり、車椅子を押したりするのは失礼であり、驚かせてしまいます。

☆「寄り添う」「付き添う」「気にかける」、心に寄り添い、真心こめて話をきくことが大切です。(武藤ほとり 記)

活きる「楽ちん介護」開催報告(後援)

◀ 1月19日(日) 9:00~12:00 於:あけぼの ▶

今回は7人の方が参加してくれました。

居宅のヘルパーさんやこれからおかあさんの在宅介護を始める方、最近奥様の在宅介護を始めた方、病院スタッフ、最近資格を取った方など、介護の場面は違うけど少しでも安全に当事者が安心でき、尚且つ介護者の負担軽減が目的です。

やることは毎回ほとんど同じですが、少しでも簡単にコツを覚えられるような指導に変わってきています。

今回も一見それは無理だという技術もコツを教えられて、「できたーっ!」と歓喜の声が何度も聞こえました。ただ、この1回だけでマスターできるわけではないので、何度も繰り返し練習する必要があります。(宮脇貞夫 記)



本年度第6回チャレンジの広場開催報告（後援）

2月16日（日）に取手市福祉交流センター多目的ホールにてチャレンジの広場を開催しました。今回は25名の方に参加していただきました。



競技内容はボッチャ、吹き矢、ラダーゲッターを行う予定だったのですが、新型コロナウイルス予防のため代わりに輪投げを行いました。

ボッチャも吹き矢も両方体験される方が多く、特に輪投げは皆さんパーフェクトの点数を出そうとねらっていました。

後半はラダーゲッターを2チームに分かれて行いました。

皆さんの的に届かなかったり、的を飛び越えたりというプレーがあり、笑い声がひびいて

いました。的に玉がからむと「オー」という歓声が上がっていました。（勝山博行 記）

障害者協働支援ネットワークからのお願い

次回第55回定例会は、総会に当たります。

令和2年度第1回の定例会には、平成31年度の「活動報告並びに会計報告」を行い、活動を振り返ります。

令和2年度の「活動計画・会計予算・役員選出」に関して、皆様の活発な（貴重な）ご意見を頂きたいと思っております。

特に、役員選出に関しましては新たな風が吹いてほしいと願っています。

皆様のご出席をお待ちしています。

当日、年会費を集めますので、ご用意いただけますようよろしくお願いいたします。（いずれも1口以上）

◎団体会費：1口1,000円 ◎個人会費：1口500円 ◎賛助会員：1口1,000円

○寄付金・助成金

ありがとうございました

中山会計事務所様 10,000円

ボランティアながやま様 5,000円

とりで障害者協働支援ネットワーク会報
「笑顔のひろば」第62号

□発行：令和2年3月1日

□発行所：とりで障害者協働支援ネットワーク

□発行者：染野和成

□編集者：鈴木澄利 武藤ほとり 石塚照子

□連絡先：取手市本郷5-4-21

TEL：080-4662-9530

時間：平日 10:00～15:00

E-mail：toride.ssknet@gmail.com

HP：http://toridessnet.webcrow.jp/

《会員募集》

ネットワークの趣旨に賛同する皆様の参加、ご協力をお願いします。随時入会を受け入れておりますのでお申し出ください。

寄付金についてもよろしくお願いします。

○会費（年額）

(1)正会員 団体1口1,000円 1口以上
個人1口500円 1口以上

(2)賛助会員（団体・個人）
1口1,000円 1口以上

■会費・賛助会費・寄付金の振込先■

口座番号 常陽銀行 取手支店

普通 1887469

口座名義 障害者協働支援ネットワーク
代表 染野 和成